

柑橘を活用した新たな愛媛の特産品 “みかんベーコン”の開発

支援機関 愛媛信用金庫 支援内容 新商品開発 支援区分 新商品開発

有限会社 トーカイ食品

事業者 概要

社名/有限会社 トーカイ食品
代表者名/代表取締役 兵頭 興治
業種/食品製造業
所在地/松山市久万ノ台327番地1
資本金/5,000,000円
設立/昭和63年12月1日
従業員数/2名



“みかんベーコン”

支援に至る経緯

【会社概要】 有限会社トーカイ食品（以下、「当社」という）は、昭和63年に創業した燻製専門の食品加工会社である。代表取締役である兵頭興治（以下、「兵頭氏」という）氏は、地元松山市で永年食品加工業を営んでいた先代の想いを継ぐため、約5年前に当社を引き継いでいる。

主要取扱商品は魚介類や肉類の燻製加工商品で、主な販路は、県内の小売業者が中心となっている。最近では、社長である兵頭氏の営業活動の結果、贈答品として県内外からの引き合いが増加傾向している。なお、最近の受注の傾向としては、サラダ用のスモークサーモンやベーコンなどの加工食品が中心となっているが、県外の企業からは新商品の共同開発の依頼もある。

【経緯】 当社の社長である兵頭氏は、県外の企業から製品開発の依頼を受けている中で、愛媛県の特徴ある商品として新たな特産品を開発することで愛媛県の特産品の競争力を高めていく必要性を感じていた。今回、愛媛信用金庫に商品開発について相談したことがきっかけで、公益財団法人えひめ産業振興財団（以下、「財団」という）の専門家派遣事業を活用した連携支援を開始するに至った。

支援内容

愛媛県の特産品としての新商品を開発に際して、首都圏でも競争力を有する商品を開発する必要がある。専門家からの助言を受けながら、商品開発の方向性を検討した結果、原材料に柑橘を使用した香り豊かな生ベーコンの開発に着手することとなった。

商品開発に当たっては、実際の消費者からの意見が重要であるとの専門家からのアドバイスにより、ターゲットとなる女性客がよく利用する人気の飲食店の協力を得ることとなった。当社の取組みが異業種との連携による新商品開発に該当することから、財団の「チャレンジプラン（新商品研究開発支援事業）」に採択されることとなった。

支援の効果

当社は、商品を開発するための設備の導入及び試作開発用の原材料の確保をチャレンジプランで対応したことにより、商品開発を順調に進めていくことができた。

【試作品の見直し・改良】 愛媛県内には、20種類以上の柑橘類がある。使用する柑橘類の種類や量によって味や風味が異なるため、何度も試行錯誤を行いながら開発を行った。さらに、連携している飲食店では、来店客に試食をお願いし、消費者の意見を収集・活用したことで商品のブラッシュアップができた。

【パッケージ等の検討】 特産品として販売していくためには、パッケージデザインが重要となる。ターゲットのライフスタイルから利用されるシーンを想定し、ベーコンの厚さや量、価格帯を検討。商品名は、全国展開を目指すためインパクトを考慮し、“みかんベーコン”と命名した。また、パッケージや販促ツールについても、専門家と何度もグループワークを行い、開発を始めてから約2年をかけて商品化することができた。

今後の展開

当社の開発した“みかんベーコン”は、「パンチのある食べ応え」「独特のクセがよい」と好評で、愛媛県の新たな特産品としてインパクトのある商品に仕上げることができた。今年度は県内の既存取引先を中心に営業活動を行い、知名度を高めていくことを目標としている。

“みかんベーコン”は、独自の技術力を活かした商品であり、価格決定の主導権を確保できる可能性がある。これからも、新たな価値のある商品を開発し、価格競争にならないビジネスモデルを構築していく方針としている。

事業者の声

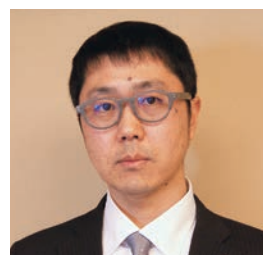
弊社では、創業以来このような制度を活用した事例がなく、不安な点が多かったのですが、財団の担当者様をはじめ、愛媛信用金庫様、専門家の方々には、親身にご対応頂き感謝しています。早速、新規取引先様による今年度のお中元商品にみかんベーコンの採用が決定致しました。今後も畜産物では、事例の少ない柑橘を取り入れた加工商品を愛媛から発信していきます。



代表取締役 兵頭 興治

支援者の声

今回ご支援させていただき、兵頭社長の商品開発に対する強い思いを感じました。社長である兵頭氏は燻製専門の食品加工会社として、新商品開発や販路開拓を積極的に行っています。“みかんベーコン”の商品化に向けてご支援をさせて頂きましたが、愛媛県の特産品として満足してもらえる味に仕上がっていますので、ネットから是非ご購入ください。



愛媛信用金庫
担当 三好 孝則